

たかはま
アーカイブ田園風景広がる高取地区に
存在した製糸工場

[論地町]

市では、これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていくことを目的として、市民の皆さんの協力を得ながら、新たな「高浜市誌」の編さんを進めています。

編さん作業の中で掘り起こされた写真や資料などを中心に、まちのこれまでのあゆみや魅力・自慢などを紹介します。「こんなことを知っている!」「他にもこんなことがあったよ!」といった情報がありましたら、お寄せください。

高浜市立郷土資料館に所蔵されている、大正13年（1924）発行の「高浜町商工業案内」には、高取地区にあった製糸工場が紹介されています。「丹羽製糸場」というこの場所は、蚕から、絹糸を作る工場で、明治時代に創業しました。向山町から、論地町の秋葉神社へ向かう道路の途中、明治時代まで水を湛えていた象鼻池の岸に工場が建っていた



国土地理院航空写真(昭和23年12月撮影)に一部加筆

ました。池は干拓されて水田になってしまいましたが、池の雰囲気は現在も残っています。工場ではたくさんの女工さんが働いていたといいますが、女工さんとして外から工場へ働きに来て、そのまま高取地区で結婚した方もいたそうです。工場がなくなった後、高取地区では女性の働き口がなくなり、小学校を卒業すると、



丹羽製糸場外観写真 ※「高浜町商工業案内」(大正13年)より転載

藤江の渡しから船に乗り、知多半島の織物工場などで働くようになったと聞いています。工場がなくなった後も、跡地付近は「製糸場」「製糸畑」と呼ばれていたそうです。また、桑畑もなくなりましたが、野生化した桑は各所に残り、かつては桑の実を子どもたちが採って食べる姿もみられました。

(一・K)

問合せ先 [いきいき文化スポーツグループ](#) ☎52-1111(内線330)

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月のめざす生活習慣・学習習慣を皆さんと共有します。

- 〈めざす年長児〉ともだちやみぢかなひととなかよくします。
- 〈めざす小6生〉友だちや学校を大切に思い、役に立つことを進んで行います。
- 〈めざす中3生〉家庭や地域を大切に思い、役に立つことを進んで行います。

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

[いきいき教育センターグループ](#) ☎52-1111(内線311)

8月

自分のまちを
大切にする子ポルトガル語は
31ページLEIA A PÁGINA
EM PORTUGUÊS!

市公式ホームページでは、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の4か国への変換機能を利用できます。

早期配布にご協力ください。